

一直線

10月増刊号 狭山市立西中学校 学校だより

学校教育目標

～自主的に考え、
正しく行動できる生徒～

○挨拶 ○清掃 ○素直
文責 校長 平沼 尚

○平成30年度全国学力・学習状況調査の結果(本校の概要)

1 概要

(1) 調査の目的

本調査は、全小中学校を対象にした調査であり、目的は「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」(実施要領より)です。

本校では、この趣旨に基づき、調査結果を踏まえ、教育計画等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導の充実に努めてまいります。さらに結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、児童生徒の学習状況の改善にご理解をいただき、今後も引き続き学校教育にご協力ご支援をいただきたく存じます。なお、この調査により測定できるのは、あくまでも生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であること、また学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

(2) 実施月日 平成30年4月17日(木) (3) 実施学年 第3学年

(4) 実施教科等 国語A(「知識」に関する問題) 国語B(「活用」に関する問題)
数学A(「知識」に関する問題) 数学B(「活用」に関する問題)
理科

(5) 質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)

2 実施教科における全国・埼玉県平均正答率

平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国	76.4	61.7	66.1	46.9	66.1
埼玉県	75	61	65	47	65
狭山市	74	58	65	46	63
西中学校	73	58	62	42	63



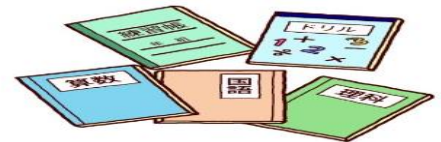
3 実施教科における考察

【国語A・B】

- ・A問題、B問題ともに、全国の平均正答率をやや下回りましたが、国語Bは狭山市の正答率と同様です。
- ・「適切な語句を選ぶ問題」は、全国の平均正答率をやや上回っています。
- ・「集めた材料を整理して文章を構成し、伝えたい事柄を相手に伝えるように書く」といった書く力に課題があります。
- ・あらすじ等の説明文の記述は、全国の平均正答率を上回りました。

【数学A・B】

- ・A問題、B問題ともに全国の平均正答率を下回りました。
- ・「計算問題」は、全国の平均正答率を上回りました。
- ・「円錐の回転体としての構成」「円柱の体積」「対角線の内角の和」「錯角の意味」などを理解しているかを問う問題の正答率がとても高く、図形について、多くの生徒が理解しています。



【理科】

- ・全国の平均正答率をやや下回りましたが、狭山市の正答率と同様です。
- ・知識・技能の活用については、実験やコンピュータを使ったシミュレーションの場面での正答率が全国の平均正答率を上回りました。

○平成30年度埼玉県学力・学習状況調査の結果(本校の概要)

1 概要

(1) 調査の目的



本調査は、埼玉県の全小中学校を対象にした調査であり、目的は、「本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進すること」(実施要領より)です。

- (2) 実施月日 平成30年4月12日(木)
- (3) 実施学年 第1～3学年
- (4) 実施教科 第1学年：国語・数学 第2～3学年：国語・数学・英語
- (5) 質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)



2 実施教科における埼玉県・西中学校の平均正答率

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
埼玉県	55.2	58.1	55.6	51.0	65.4	61.7	59.1	58.5
狭山市	54.6	59.2	55.7	51.2	66.1	61.2	61.5	59.7
西中学校	53.6	57.9	50.8	47.1	60.9	61.4	60.8	60.2

3 実施教科における考察

- 【1学年】国語・数学ともに県の平均正答率をやや下回りました。
- 【2学年】国語・数学・英語の正答率は、県の平均正答率を下回っていますが、学力は全体的に昨年度より伸びています。(昨年度とのレベルの比較 国語：7A→8C 数学：8C→8B 英語7C→7B)
- 【3学年】国語の平均正答率は若干、県を下回るものの、数学・英語ともに県の平均正答率を上回りました。昨年度と比べると大きく学力が伸びています。とくに英語の伸びが著しい。
昨年度とのレベルの比較 国語：7B→8A 数学：7B→8C 英語：8A→10B)
(数学：昨年度とのレベルの比較 24→27 20→23 16→18)



○全国学力・学習状況調査質問紙調査の結果と考察(抜粋)

生徒質問事項	西中	全国
朝食を毎日食べていますか。	91.7%	91.9%
学校の規則を守っていますか。	95.9%	95.1%
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師を含む)	66.1%	70.6%
放課後に何をして過ごすことが多いですか。	88.2%	82.2%
将来の夢や希望を持っていますか。	73.3%	72.4%
家で学校の宿題をしていますか。	95.4%	91.6%
自分には、良いところがあると思いますか。	75.9%	78.8%

【考察】

- ・「就寝時刻、起床時刻」といった基本的な生活習慣に関する項目は、全国平均を上回っています。上記のとおり、「朝食を毎日食べている。」という項目が、全国平均を若干下回っているのが気になります。朝食は一日の活力源です。今後ともご家庭の協力をお願いします。
- ・自尊心をさらに高め、様々な場面での頑張りをご家庭や学校でも的確に評価し、さらに良いところを伸ばせるよう声掛けをしていくことは、子どものやる気を起こさせ、「学びに向かう力」に直結し、学力の向上の原動力になると考えます。「やる気を起こさせる。」支援や授業改善に今後も取り組みます。
- ・学校では、教科の学習とともに、将来の夢や希望を育てる進路指導・キャリア教育にも、さらに力を入れていきたいと考えます。ご家庭でも、お子さんと「夢や目標」について語る機会を持つとともに、家庭学習の習慣化・充実に向けてご指導・ご協力をお願い致します。
- ・宿題についてはほとんどの生徒が、取り組んでいることがわかります。しかしながら、主体的な家庭学習の定着は大きな課題だととらえています。